

人間生活学専攻の概要と特色

人間生活学専攻は、人間中心の生活学を総合的・専門的視座から教授研究し、深い学識と知見を授けて学術研究の発展に資するとともに、社会の要請に応える人材を育成することを目的とする。そのために、人間社会論、生活文化論、生活経営論、生活環境論の4研究分野が密接に連携し、横断的に学修できる教育研究システムをとる。本専攻のこのようなシステムは、各分野や分野間にかかわる諸問題を学際的に考究し、新たな研究課題の開発と既存の学問研究への新たな視点からの寄与を行うことをねらいとする。さらには、人間及び人間生活に関する学識と豊かな人間性を備えた、社会の創造に貢献しうる21世紀型市民リーダー、高度の専門能力を有した研究者、専門職員・教員をはじめとして専門的な業務に従事しうる人材の養成を目指す。

(1) 人間生活学専攻のアドミッション・ポリシー

本専攻では、上述した教育研究上の目的に共鳴し、人間及び人間生活をめぐる問題意識をもって、多様な課題を探究し、研究課題に取り組もうとするリサーチマインドをもった人に広く門戸を開いている。あわせて当該研究分野に対する学修意欲の高い人を求める。

(2) 人間生活学専攻のカリキュラム・ポリシー

本専攻のカリキュラムは、人間中心の生活学という視座から、次のような研究分野を設けている。

- ・人間の本质追求と社会とのかかわり・社会福祉等の課題を考究する人間社会論分野
- ・人々の生活を規定する文化的要素を追究する生活文化論分野
- ・人間生活そのものの科学的分析と改善向上を課題とする生活経営論分野
- ・人間生活の行われる場としての環境条件を考究する生活環境論分野

以上4研究分野に授業科目をバランスよく配するとともに、キリスト教に関する理解を深めるための授業科目も用意されている。

学生は、授業科目について30単位以上を修得するが、そのうち、本専攻では、学生が所属する研究分野を含む3研究分野にわたって、それぞれ4単位以上を修得することになっている。また、学生は、研究指導担当教員の承認を得て、他専攻・コースの授業科目を8単位を限度として履修することが可能である。

(3) 人間生活学専攻のディプロマ・ポリシー

学生には、必要な単位数と在学期間を満たし、高度専門職業人又は研究者としての基礎的問題解決力、課題探究力を身につけていることを認定する論文の審査と、専攻分野の学識を含めて総合的に審査する最終試験に合格することによって修士号が授与される。

そのために、本専攻では、学生がその研究を組織的・体系的に深化させ、十分な学問的水準を満たした学位論文を作成して学位を得るための手順を定め、教育研究指導体制をとっている。学位論文は、この手順を踏まえるとともに、学位規則ならびに学位論文審査等の判定

基準に示した研究水準を満たす必要がある。

なお、本専攻では、所定の要件を満たし、必要な科目を履修することによって、中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状を取得することができる。